

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表日：令和5年2月13日

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8	法令の基準に適した適切なスペースを確保しています。		
	2	職員の配置数は適切である	8	利用人数に対する配置基準に加えて専門職を加配しております。		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	8	事業所内はすべてフラットで、活動しやすいように配慮しております。		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加している	8	業務が効率よく進むように職員同士で考えて意見を話し合い業務改善に努めています。		
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8	毎年アンケートを配布し、ご意見やご意向を把握することにより、改善につなげています。		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8	COMPASS 発達支援センター公式Web サイトにて公開しております。	今後も公式webサイトで公開してまいります。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	8	現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	1	年間予定を立て、事業所内の職員研修は定期的に行っています。	コロナ予防に留意しながら、社外での研修にも積極的に参加し、職員の資質向上に繋げていきます。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8	児童発達支援管理責任者が中心となって児童の現状に合った支援計画を作成し、その都度見直しをおこなっています。また関係機関との連携を図り、児童の現状と今後の課題に沿った計画を作成しております。		
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8	社内共通様式で標準化されたアセスメントシートを使用しています。		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	8	計画を立てた後、会議をして意見をもらっています。週末や長期休業（夏休みなど）の利用時、児童に必要な課題（支援）と楽しんで関われる活動プログラムとメリハリをつけチームで立案し作成しております。		
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	1	プログラムをある程度固定した方が児童達が混乱せずスムーズに動きやすいと感じています。マンツーマンでの成長を支援する場面と集団の中で社会性を育む場面と両面で計画を作成しております。	事業所では習慣化や技能の定着を目指すため、一定期間、活動プログラムはあえて固定した課題を提供していますが、長期で同じ指導、同じ活動内容にならないよう季節のイベントなど集団活動も実施しております。また作業療法士指導のもと、毎月機能訓練の内容を見直ししてまいります。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	8	平日は、放課後の限られた時間での利用ということもあり、学習課題に取り組みことに重きをおいた支援をおこなっておりますが、週末や長期休暇時には、児童の課題に沿った支援ばかりではなく、それに付け加えて楽しめる活動をバランスよく提供しております。		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	8	集団が難しい児童は個別にて対応する事ができています。マンツーマンでの成長を支援する場面と集団の中で社会性を育む場面と両面で計画を作成しております。		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	2	勤務時間・業務の都合により参加できない場合もあるので、伝えあいや連絡ノート等で工夫し、共有が出来るようにしています。	休みの職員、その時間帯にいない職員にも同じ内容が共有できるように、ボード、周知ノート、緊急性があるものは、電話連絡と内容に応じて共有方法を使い分けてまいります。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、気付いた点等を共有している	6	2	送迎等があるため毎日全員での打ち合わせは難しいのですが、支援終了後には定期的に療育の担当ごとに引き継ぎや、ケース検討会を開催し、情報共有に努めています。	次の支援のために必要な振り返りに漏れないように「児童について」「送迎について」「保護者様について」「学校等関係機関について」「事務処理連絡について」など打ち合わせ時のルーティン化を図ってまいります。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	日々の療育内容・体調・生活状況の変化等の気づいた点も記録し、職員間・保護者様に報告しています。また、保護者様との連絡帳や回答連絡により、当日の利用児童の関する情報をいただくことで検証・改善につながっています。		
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8	定期的なモニタリング・面談の実施にて、保護者様からのご要望を取り入れながら児童の状況把握・見直しを行っています。		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	8	ガイドラインに沿い、支援に必要な項目を適切に選択し、具体的な支援内容の設定に努めています。また日々の打ち合わせや会議で児童の成長度合い・新しい課題を共有し、支援内容の適性を確認しています。			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加している	8	児童の状況に精通している児童発達支援管理責任者が担当者会議に参加しています。		
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	8	送迎時の機会に学校が発行している行事予定を頂いたり、情報共有に努めていきます。		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	8	現在医療的ケアが必要な児童は在籍していません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	8	担当者会議を通して支援内容等の情報共有と相互理解を図り、支援の方が統一されるように心がけています。		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	8	担当者会議等を通して支援内容等の情報共有と相互理解を図り、移行先でも活動に役立てていただけるよう心がけています。		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8	事業所を併用している児童については担当者会議で情報共有に努め、相談支援専門員を通して様子を聞いたりしています。		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	8	現在は交流するような活動の機会は実施できておりません。	コロナ予防に留意しながら事業所について理解を深めていただくため見学・話し合いなどを持つ機会があってもよいと考えていますが、保護者様のご意向にも配慮し、慎重に検討してまいります。	
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	8	新型コロナの感染予防の観点から外部での参加は控させていただいています。	日程調整が難しい場合もありますが、今後はコロナ予防に留意しながら積極的に関係機関の研修会の機会を逃さず参加して助言を受け、密に連携が取れるように努めます。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8	連絡ノートでのやりとりや、送迎時の機会或いは場合によっては面談や電話相談を活用して、保護者様との情報交換をおこない、児童についての共通理解を深めています。		
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	8	保護者様の子育てのお悩みやご相談に寄り添う支援を心掛け、保護者様に支援内容を深くご理解いただき、お悩みの解決手段や、児童の成長のためにご家庭でできる支援や協力に取り組んでいただいています。		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8	契約時には運営規程、利用者負担等について丁寧な説明に努めています。また契約時のみならず保護者様のご要望がある時は、再度解りやすく丁寧に説明しています。		
	31	保護者からの子育てのお悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8	連絡ノートや送迎時にいただくご相談や定期的な面談などは丁寧に聞き、必要な助言や支援に努めています。		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	8	今年度もコロナ感染防止の観点から交流は自粛させていただいております。	コロナ感染予防もあり、またご家庭によっては直接集まって交流する方法を取りにくい環境もある中で、より良い形での開催を検討中です。また事業所全体では、配信サービスを活用して全国のCOMPASS の保護者様の声を共有できるように努めてまいります。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8	苦情には窓口と責任者を設け、利用開始時にお知らせしております。また毎日の利用の中でのご意見・苦情には、その日のうちに事業所内で報連相をおこない、改善策を保護者様にご提案しております。		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8	公式Web サイトのブログにて事業所の様子をお伝えしています。また年4回「COMPASS だより」を季刊発行しています。連絡帳で行事予定やお知らせ、毎月の様子を写真と共にわかりやすく事業所便りとして掲載、配布しております。		
	35	個人情報に十分注意している	8	個人情報の記載のある重要書類は、施錠ができる書庫にて保管し、廃棄の際にはシュレッダーにかけるなど細心の注意を払っております。		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	児童には状況や特性に合わせた伝達方法を心がけ、保護者様にはわかりやすいご説明や情報伝達を心がけています。		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	8	コロナ禍でもあり、現時点では事業所行事に地域住民を招待する企画は実施できていません。	現在は感染症リスク、プライバシーの保護の観点からも保護者様全員の理解や説明が難しい部分もあるため、慎重に検討してまいります。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	8	各種マニュアルを策定するとともに事業所に掲示して契約時に保護者様にご案内させていただき、定期的な訓練も実施しております。		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8	地震、火災、風水害、不審者対応マニュアルを策定し、事業所内に掲示しており、発生を想定した避難訓練を毎年実施しています。		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	事業所内で職員研修を実施し、虐待防止について周知に努めています。また外部研修にもオンラインにて参加しております。		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	8	原則として契約書で身体拘束は禁止となっておりますが、止むを得ず必要となる場合には、児童や保護者様に十分なご説明をおこない、承諾を得て計画に記載するようにしています。		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8	現在、対象となる児童のご利用はありません。	今後、アレルギー等のある児童の受け入れの場合は、医師と連携し指示書に基づく正しい対応を熟知して、安全な支援に取り組んでまいります。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8	発生時には詳細を記録に残し、職員間で共有したのち、定期的に振り返りをおこなっています。		